

## 3-3 豊かな心の育成と人権意識の高揚

令和7年度の計画				
取組項目	主な事業	目的（ねらい）	事業概要等	担当課
「豊かな心」を育成する学校教育の充実	学校教育に関する取組み項目のため、記載していません。			—
市民主体の人権学習の推進	①住民人権学習の推進	住民人権学習がより充実したものとなり、市民の人権感覚・人権意識が高まるように学習活動を支援する。	住民人権学習推進員や支援者を対象に、住民人権学習の目的や実施手法などについて学ぶ研修会を実施する。 住民人権学習推進員などからの相談に対応し、学習会の開催に向けた支援を行う。	人権
	②地域・学校における人権学習の推進	地域の人権課題について考え、人権意識の高揚を図る。	市内各中学校区を対象とした地域人権教育事業を実施する。 市内の中学生が一堂に集まり学習する「丹波市中学校人権学習交流集会」を開催する。	人権
	③職場における人権学習の推進	人権が尊重され、働きやすい職場環境づくりを進める。	事業所へ講師を派遣する「人権研修支援制度」を実施する。 事業所における人権に関する取組状況を調査し、支援策を検討する。	人権
防災・安全教育の推進	学校教育に関する取組み項目のため、記載していません。			—

社・文＝社会教育・文化財課 / 市活課＝市民活動課 / 文・ス＝文化・スポーツ課 / 人権＝人権啓発センター

## 3-6 共に学び、成果をいかせる社会教育の推進

令和7年度の計画				
取組項目	主な事業	目的（ねらい）	事業概要等	担当課
生涯を通じた様々な学習機会の提供	①TAMBAシニアアカレッジの開講	高齢期を生きがいを持って生き生きと過ごす	生活必要課題の解決に向けた教養講座、ラジオ教養講座を開催する。	市活課
	②二十歳のつどいの開催	20歳の若者が夢や希望を語り、丹波市への愛着と誇りを感じながら、互いに学び合う場となる	二十歳のつどい実行委員会を組織し、アトラクション等を検討することで学びにつなげる。また、二十歳のつどい参加者にもアトラクションを通して学びを促す。	市活課
	③身体障害者社会学級の開講	身体障がい者の社会参加や活躍の促進	丹波篠山市と合同で障がい者の仲間づくり、生きがいづくり、学び合う場づくりのため身体障害者学級の運営を支援する。 (R7事務局) 丹波くすの木学級：丹波市 丹波青い鳥学級：丹波篠山市	市活課
地域主体の学びの場づくりへの支援	①自治公民館活動への支援	地域における生涯学習活動の活性化を図る	人権意識を高める学習活動、地域コミュニティの形成のための事業に対して補助金を交付し、生涯学習活動を活性化させる。	市活課
	②地域高齢者学級への支援	高齢期における生きがいづくり	地域高齢者学級に対して、生涯学習振興補助金を交付し、生涯学習活動の振興を促す。また、地域高齢者学級連絡会を開催し、活動に対する伴走支援を行う。	市活課
	③自治協議会への活動支援	持続可能な住民自治の実現に向けて、地域の課題解決に取り組むための意識の向上をめざす	・地域づくり交付金を交付することで、地域住民の主体的な連携と交流のある持続可能な地域づくりの推進を図る。 ・自治協議会（役員や地域コミュニティ活動推進員、その他の担い手）を対象にした研修会を開催し、地域の情報共有や地域間の交流を進める。	市活課
多様な主体と連携・協働した学習機会の提供	①まなび・ときめきフェスの開催	生涯学習についての理解を深める	市民を対象にしたまなび・ときめきフェスを開催し、生涯学習への関心を深める取り組みを企画する。	市活課
	②丹波市子ども会育成協議会	丹波市子ども会育成協議会の活動を支援する	単位子ども会活動に係る安全共済会の取扱い事務のほか、オセロ大会等の自主事業を開催し、地域の子ども会活動の活性化を図る。	市活課
	③市民活動団体等による交流会の開催	市民活動団体を始めとした多様な主体のつながり作りを支援する	市民プラザ大交流会を開催し、市民活動団体や多様な主体が交流することで、団体同士のつながりを深める。	市活課

### 3-6 共に学び、成果をいかせる社会教育の推進

令和7年度の計画				
取組項目	主な事業	目的（ねらい）	事業概要等	担当課
学校・家庭・地域との協働による豊かな学びの推進	①地域学校協働活動の推進	学校（学び）を核とした地域づくり・人づくりの実現をめざす。	地域学校協働活動推進員協議会を開催し、事業の推進に向けた課題整理を行うとともに、地域学校協働活動推進員どうしの活動内容の共有を行い、それぞれの活動を支援する。 また、地域学校協働活動推進員だけでなく、学校や地域（自治協議会）等関係者が取組を進めるうえで参考にできる地域学校協働活動推進ハンドブックを作成する。	社・文
	②PTCA活動の支援	地域全体で子どもを育む意識の向上をめざす。	丹波市PTA連合会によるPTCA活動実践交流大会開催に向け事務局として支援を行う。	社・文
社会教育にかかわる人材の育成	①地域学校協働活動推進員等コーディネーター人材の育成	学校と地域をつなぐコーディネーターを育成し、学校と地域の連携を強化する。	学校と連携して、地域学校協働活動地域別座談会を中学校区単位で開催する。 また、地域学校協働活動推進員との情報共有等活動支援を行う。	社・文
家庭の教育力向上のための連携強化	①子育て支援担当部局との連携	家庭教育事業や子育て支援担当部局と横断的な連携を図る。	子育て学習センターの子育て指導員との情報交換を実施する。 また、子育て支援施策検討委員会での子育て支援実施施策を検討する。	社・文
	②家庭教育に関する情報の発信	家庭教育に資する学びの機会を周知する。	家庭教育に資する情報を教育委員会SNSを通じて発信する。	社・文
	③単位PTAリーダー育成支援	市内単位PTAの活動における家庭の教育力の向上に役立つ情報を提供する。	丹波市PTA連合会によるリーダー研修会の開催支援を行う。	社・文

社・文＝社会教育・文化財課 / 市活課＝市民活動課 / 文・ス＝文化・スポーツ課 / 人権＝人権啓発センター

## 3-7 地域の教育資源をいかした学びの推進

令和7年度の計画				
取組項目	主な事業	目的（ねらい）	事業概要等	担当課
指定文化財の保護	①指定文化財の修理等に伴う調査・修理・治療	指定文化財を良好な状態で維持管理するとともに現状把握及び改善策を検討する。	国指定文化財の旧友井家住宅について耐震診断を行い、補強案を策定する。 国史跡の黒井城跡主郭部の石垣を計測し石垣の現状を調査する。 県指定天然記念物の柏原の大ケヤキ(木の根橋)の樹勢を維持するための治療を行う。	社・文
	②指定文化財の修理に対する補助	指定文化財等を良好な状態で維持管理し、後世に継承する。	市指定天然記念物の鴨神社のイチョウに対する保存修理事業へ補助金を交付する。 国登録文化財の慧日寺庫裏の屋根葺替工事に対して補助金を交付する。	社・文
	③無形民俗文化財への活動補助	無形民俗文化財の活動を支援し、後世に継承する。	無形民俗文化財保存団体に対して補助金を交付する。	社・文
歴史文化遺産を活用した学習の推進	①歴史講座の開催	歴史資料の調査成果等を広く公開し、地域の歴史に興味を持ってもらう。	神戸大学大学院人文学研究科との連携事業による歴史講座(全6回)を開催する。 市島民俗資料館開館ボランティアとの共催による市島歴史講座(全3回)を開催する。	社・文
	②資料館への市内小中学校の校外学習受入れ	資料館の資料を活用して地域の歴史を学ぶ場とする。	春日郷土資料館において小学校3年生の校外学習を受入れる。 地域学習の際に各資料館で校外学習を受入れる。	社・文
	③埋蔵文化財の調査	埋蔵文化財の有無を確認し、遺跡の保護を行い、出土した遺物の活用を図る。	開発予定地での試掘・確認調査を行う。 調査報告書を刊行する。 遺跡に関する企画展を開催する。	社・文
社会教育施設などを活用した学習の推進	①青垣いきものふれあいの里・水分れフィールドミュージアムでの企画展の開催	自然や動植物、文化を学ぶ機会を提供する。	丹波市の自然や歴史・文化についての展示や動植物の特性や習性についての企画展を開催する。	社・文
	②青垣いきものふれあいの里・水分れフィールドミュージアムでのワークショップ及び出前講座の実施	氷上回廊をとりまく豊かな自然や文化など地域資源に関する教育を普及する。	教育普及専門員や外部講師による指導のもと、動植物の観察会や標本づくり、氷上回廊をフィールドとしたワークショップを実施する。出前講座では、水生生物の観察など小学校や自治会から希望のあったテーマに合わせて職員が出張し、講座を行う。	社・文
	③植野記念美術館での企画展や、会期中のイベントの実施	様々なテーマの企画展を通して、市民が本物に触れる場を提供する。	丹波市ゆかりの作家の個展や、関西万博にちなんだ館蔵品の展示、様々な年齢層に向けた展示など、工夫をして多くの市民に親しまれるような展覧会を実施する。 また、年1回「UEBI ART展」として、丹波市出身の現役作家を紹介する特別企画展を実施する。	社・文
	④丹波ゆかりの作品や作家の調査研究を実施	丹波ゆかりの作品・作家の魅力を発見し、公開につなげる。	展覧会の開催や関連イベントの実施に向けて、丹波市出身の作家や丹波市ゆかりの作品の調査を行う。また館蔵品の整理や調査を行うことで、創作者や地域ゆかりの作家の功績を再評価する。これらの調査の成果を報告するために関連図録の作成を行う。	社・文

## 3-7 地域の教育資源をいかした学びの推進

令和7年度の計画				
取組項目	主な事業	目的（ねらい）	事業概要等	担当課
社会教育施設などを活用した学習の推進	⑤うえびのファミリープログラムの実施	親子や家族で美術館に親しめる機会を提供する。	未就学児とその保護者を対象としたイベントを実施し、未就学児が芸術に触れあうことのできる機会を提供する。また、ファミリーDAYと題してこども連れでの鑑賞を推奨する日を各展覧会ごとに4日程度設定し、こども連れが美術館で過ごしやすい環境を提供する。	社・文
	⑥地域のごども園・小中学校を対象とした鑑賞教室の実施	地域のごどもの芸術を愛する心、故郷を愛する心を養う。	展覧会会期中に、学校・園からの団体観覧申請により鑑賞教室を行うことで、学校教育との連携を図り、こどもが美術館に訪れる機会を増やす。	社・文
	⑦高校生による作品展の開催	来館者層の中でも特に少ない「高校生」をターゲットとして美術に接する機会を提供する。	丹波市内の高等学校や特別支援学校と連携して、各校の学生の作品を紹介する合同展を開催する。高校生に作品を制作してもらうほか、展示作業や会場受付などでもできるだけ体験してもらい、美術に携わる仕事を紹介して将来の進路の選択肢を広げる。	社・文
	⑧植野記念美術館で絵画教室の実施	市民が創作活動する機会を提供する。丹波市出身の芸術家と市民の交流の機会をつくる。	植野記念美術館で、丹波市出身または市内で活動されている芸術家を講師に招き、月1回の絵画教室を実施する。また、丹波市内の高等学校には常勤の美術教諭がいないため、「美術に関する進路相談」など若年層向けの講座も要望に応じて行う。	社・文
	⑨シニア層向けの事業の実施	高齢の方が美術に親しみ続けることができる環境や生涯学習の場を提供する。	市民活動課のシニアアカレッシェへの会場提供や社会福祉課の高齢者向け広報ネットワークの活用、寿学級による作品発表の場の提供により、生涯学習の場として美術館を活用できるような連携事業を行う。	社・文
	⑩植野記念美術館のYOUTUBEチャンネルで、展覧会に関する動画配信	展覧会の内容を動画配信することにより、美術館に興味を持ってもらい、市民のみならず遠方の方への広報を行う。	今後開催する展覧会の予告を動画配信で行う。館蔵作品や地域ゆかりの作家を紹介するショート動画を作成し、遠方の方が丹波地域の美術の魅力に触れることができる機会を提供する。	社・文
	⑪オンラインアーカイブに向けた丹波市所蔵作品のデジタル記録の整理	美術館等に直接足を運ばなくても丹波市の文化芸術に関する情報を入手できるようにして、その魅力を広く発信する。	丹波市が所蔵する作品や資料をデジタル撮影、スキャンしてオンライン上で提供できる準備を進める。これらのデータを適宜、ホームページ等で公開することで、遠方の方にも丹波市の文化芸術の魅力伝える。	社・文
	⑫丹波布伝承館での長期教室、企画展、体験教室の開催	伝統文化の保存、後継者の育成、観光施設の拠点とする。	第14期長期伝承教室の開講及び第15期長期伝承教室の伝習生募集を行う。観光施設として各種体験教室の開講、企画展・創作展の開催、地域の小学校への出前講座を行うなど市内外に丹波布のPRを行う。	市活課
	⑬俳人細見綾子生家での俳句に親しむ事業の実施	郷土の俳人細見綾子を通じ、日本の伝統文化である「俳句」に親しむ。	丹波市俳句協会と連携し、市内の小中高生を対象に生家に残る細見綾子の足跡をたどるとともに、日本の伝統文化である「俳句」を学ぶ俳句教室を開催する。	文・ス

## 3-7 地域の教育資源をいかした学びの推進

令和7年度の計画				
取組項目	主な事業	目的（ねらい）	事業概要等	担当課
社会教育施設などを利用した学習の推進	⑭恐竜化石等を活用した学習プログラムの実施	篠山層群から発見された恐竜化石などから地域の特色や自然を学ぶ機会を提供する。	丹波竜化石工房や丹波竜発見現場での現地学習を進めるとともに、学校での出前授業を実施するなど、市内小中学生を対象とした学習プログラムの充実を図る。	恐竜課
	⑮丹波竜化石工房拡充工事関連業務	丹波竜化石工房の将来的な継続に向けて、施設機能や教育普及機能の充実を図る。	丹波竜化石工房拡充工事関連業務を実施することにより、展示や標本を用いた教育普及とともに、来館者が落ち着いて学習できるスペースを創設する。	恐竜課
	⑯セミナー・ワークショップの実施	多くの来館者に化石・地層などから地域の自然環境や特性を伝える。	恐竜・古生物復元ワークショップでは、外部講師の指導による復元画や模型づくりを実施する。また、丹波竜化石工房セミナーでは、外部講師や教育普及専門員の指導による、化石クリーニング体験や丹波地域で発見された化石や古生物学についての講義を行う。	恐竜課
恐竜化石や氷上回廊などの地域の教育資源をいかした学習の推進	①青垣いきものふれあいの里・水分れフィールドミュージアムでの企画展の開催【再掲】	自然や動植物、文化を学ぶ機会を提供する。	丹波市の自然や歴史・文化についての展示や動植物の特性や習性についての企画展を開催する。	社・文
	②青垣いきものふれあいの里・水分れフィールドミュージアムでのワークショップ及び出前講座の実施【再掲】	氷上回廊をとりまく豊かな自然や文化など地域資源に関する教育を普及する。	教育普及専門員や外部講師による指導のもと、動植物の観察会や標本づくり、氷上回廊をフィールドとしたワークショップを実施する。出前講座では、水生生物の観察など小学校や自治会から希望のあったテーマに合わせて職員が出張し、講座を行う。	社・文
	③丹波市オリジナルボードゲーム（学習教材）「TMK」の活用	丹波市の課題や魅力に気付くことや、コミュニケーション（伝え合う）、リフレーミング（違う視点で見る）、シェアリング（共有する）力を培う。	市内各中学校に配置し、トライやる・ウィークの事前学習として取り組む等、中学生が授業の中で活用する。 また、市民プラザや市内各住民センターで市民向けに貸し出しを行い、グループや自治会等でボードゲームを楽しみながら、新たな気づきや地域への理解を深めるきっかけを提供する。	社・文
	④恐竜化石等を活用した学習プログラムの実施【再掲】	篠山層群から発見された恐竜化石などから地域の特色や自然を学ぶ機会を提供する。	丹波竜化石工房や丹波竜発見現場での現地学習を進めるとともに、学校での出前授業を実施するなど、市内小中学生を対象とした学習プログラムの充実を図る。	恐竜課
	⑤丹波竜フェスタの実施	恐竜に関する最新情報の発信や、古生物・地層についての関心を高める。	国内外の古生物学研究者による講演会を開催するとともに、竜学での学習発表を行う。	恐竜課
こどもたちの文化芸術活動の環境づくりの推進	中学校の部活動地域移行（学校教育）に関する取り組み項目のため、記載していません。			—

社・文＝社会教育・文化財課 / 市活課＝市民活動課 / 文・ス＝文化・スポーツ課 / 人権＝人権啓発センター

## 3-8 親しみを感じる図書館づくり

令和7年度の計画				
取組項目	主な事業	目的（ねらい）	事業概要等	担当課
暮らしに役立つ図書館サービスの提供	①電子図書館サービスの拡充	非来館型・24時間利用可能などの利便性を提供する。	GIGAスクール向け読み放題コンテンツを、学校の要望を聞きながら拡充する。郷土資料など、波市独自の資料をデジタル化し電子図書館で利用できるよう登録する。	社・文
	②レファレンス機能の充実	市民の困りごとや課題解決を支援する。	市民の困りごとや課題解決の支援を行う「レファレンスサービス」を広報し、より多くの市民に図書館機能を活用してもらえようとするとともにニーズにあった資料を充実させる。	社・文
	③宅配サービスの実施	来館困難者への支援を行う。	一定の要件を満たした来館困難者に、図書館資料を宅配することで図書館を利用できるよう支援する。	社・文
こども読書活動の推進	①こども司書養成講座の開催	読書活動のリーダーを養成する。	市内の小学校4年生～6年生を対象とした養成講座を開催する。（図書館の使い方等を学べる、年間7回の講座）	社・文
	②学校図書館との連携	学校図書館・公共図書館相互に連携を図り、こども読書活動を推進する。	・学校現場で必要とされている情報や資料について、情報交換を行う。 ・教育委員会が認定する各小・中学校の「読書マイスター」が作成したPOPを、各地域の公共図書館で展示する。	社・文
	③絵本作家講演会の開催	こどもが絵本に親しむ機会を提供し図書館利用・読書活動推進につなげる。	ふだん図書館を利用していないこどもたちも含め、絵本の世界に親しみ、図書館や本に興味を持つ機会として絵本作家による講演会を開催する。	社・文
市民の参画と協働による図書館運営の推進	①図書館サポーター養成講座の開催	図書館運営に関わる市民を増やす。	図書館サポーター養成講座を年2回開催し、新たに図書館運営に関わってもらおう市民を増やす。	社・文
	②おはなし会の開催（各館・合同）	市民協働による図書館事業を実施する。	各図書館でおはなし会を毎月・定期開催するほか、全館で活動している市民ボランティア合同によるおはなし会を開催する。（こども向け・大人向けの2回）	社・文
	③読書会の開催	本好きな市民が交流する場を提供する。	参加者同士でおすすめの本を紹介するイベントを開催し（毎月）、市民がゆるやかに交流できる場を提供する。	社・文

社・文＝社会教育・文化財課 / 市活課＝市民活動課 / 文・ス＝文化・スポーツ課 / 人権＝人権啓発センター

## スポーツに関すること（学校における体育に関することを除く）

令和7年度の計画				
取組項目	主な事業	目的（ねらい）	事業概要等	担当課
生涯学習を通して学び、活躍できる生涯学習の推進（地域の将来を担う人づくり）	① ・熱中症研修会 ・普通救命講習会 ・青少年スポーツ指導者資格取得補助	青少年スポーツ活動の指導者のスキルアップ	①楽しく安全にスポーツ活動を行うため、市スポーツ協会で「熱中症予防」「AED講習会」などを開催すると共に「青少年スポーツ指導者資格取得助成」を行い青少年スポーツ活動の指導者のスキルアップに努める。	文・ス
	② ・丹波市スポーツの日 ・丹波市ちーたん駅伝	スポーツ体験できる機会の創出	②身近な地域でスポーツが体験できる機会を創出するため「丹波市スポーツの日イベント」「ちーたん駅伝」などを実施する。	文・ス
主な年間行事	①丹波市青少年水泳記録会（4月下旬）	練習をしている青少年の練習に成果を発揮する場 水泳を楽しむ市民の増加	毎年グリーンベル青垣において4月下旬に開催。参加区分、参加種目別に開催。 区分：小学1～2年生、小学3～4年生、小学5～6年生、中学生、高校生 種目：平泳ぎ、バタフライ、背泳ぎ、自由形	文・ス
	②SC21丹波市連絡協議会丹波市交流グラウンドゴルフ大会（5月下旬）	それぞれのクラブ活動の充実と交流を図る。	参加者：スポーツクラブ21加入者 種目：グラウンド・ゴルフ	文・ス
	③丹波市ラジオ体操講習会（7月中旬）	市民一人ひとりの運動をするきっかけづくり、健康習慣の意識づくりの場	NHKテレビ・ラジオ体操指導者によるラジオ体操の基本動作の取得に係る講習・実技指導。参加者は実技を行い、正しい体の動かし方についてポイントアドバイスを受ける。	文・ス
	④第29回全国高等学校女子硬式野球選手権大会（7月下旬～8月上旬）	女子野球の裾野の拡大、丹波市の知名度を高める、地域活性化、こどものスポーツを始めるきっかけ	全国の高等学校女子硬式野球チームの夏の大会。予選トーナメントは、丹波市と淡路市の2会場開催し、ベスト16から準決勝までの決勝トーナメントは丹波市会場で行い、決勝戦を阪神甲子園球場で開催する。	文・ス
	④ふれあいスポーツのつどい	パラスポーツ・ユニバーサルスポーツの体験を通じて障がいの有無や年齢の差異に関わらず誰もが参加し楽しむことが出来る社会の実現を目指して、健康づくりや人とのふれあいを深め、明るく豊かで生きがいのある生活を営むことを目的とする。	丹波市・丹波市障がい者スポーツ推進委員会を主催に、ひょうご障害者スポーツ指導者協議会丹波地域委員会・丹波市スポーツ推進委員会の協力をのもと、市内在住・在学のユニバーサルスポーツに興味のある方を対象に、ポッチャ／卓球バレー／モルックなどの実施。	文・ス
⑤丹波市ちーたん駅伝	参加者の日頃の成果の発揮、市民全体の週1回以上のスポーツができる気運を広げる。	丹波市在住、在勤及びゆかりの小学生以上を対象に、①中学生以上男子の部、②中学生以上女子の部、③小学生の部、④レクリエーションの部	文・ス	

社・文＝社会教育・文化財課 / 市活課＝市民活動課 / 文・ス＝文化・スポーツ課 / 人権＝人権啓発センター

## 文化に関すること（文化財の保護に関するものを除く）

令和7年度の計画				
取組項目	主な事業	目的（ねらい）	事業概要等	担当課
文化ホール事業の充実	①アマチュアアーティスト育成支援事業の実施	若い世代が気軽に参加できる機会の提供	4フェスタ（バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓）を開催するとともに、ジュニアステージなど若い世代が気軽に参加できる機会を提供する。	文・ス
	②文化ホール自主事業の実施	子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会の提供	子どもたちが多様な文化芸術に触れ、活動に参加する機会を増やすため、子ども向けの映画上映会や、クリスマス企画、高校生主体の事業などを開催する。	文・ス
市展開催事業の実施	①丹波アートコンペティションの開催	市民の文化芸術活動への関心を高める	全国公募にて独創的な作品を募集・展示し、市民の文化芸術に対する関心を高め、心豊かなまちづくりを目指す。	文・ス
	②文化芸術講座「アートスパイス」の実施	次世代の活動の担い手の育成	丹波アートコンペティションの審査員を講師とした芸術講座を開催する。（市展事業の一環として開催）	文・ス
文化芸術活動に親しむ機会の充実	①文化芸術体験講座「はじめの一步」の開催	気軽に文化芸術について体験できる機会の充実	気軽に文化芸術活動を体験し、活動をはじめるにあたっての「はじめの一步」が踏み出せるための体験講座を開催する。（年10回程度）	文・ス
	②子育てアートサロンの実施	子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会の充実	子育て世代の親子が参加し、共に楽しめる内容の「親子で楽しむふれあいコンサート」を開催する。	文・ス
	③文化芸術団体への活動支援、担い手育成	文化団体の活動の活性化を図る	事務局を担う各種文化団体への補助、事務支援を行う。 （対象：丹波市文化協会、丹波市郷土民踊保存協会、丹波市俳句協会）	文・ス

社・文＝社会教育・文化財課 / 市活課＝市民活動課 / 文・ス＝文化・スポーツ課 / 人権＝人権啓発センター

# 丹波市社会教育委員名簿

任期 自 令和6年4月1日  
至 令和8年3月31日

NO	氏 名	住 所	備 考
1	梅 垣 真 紀	柏原地域	
2	竹 安 今 日 子	柏原地域	
3	竹 岡 郁 子	山南地域	
4	森 奥 和 代	山南地域	
5	梅 谷 浩 子	氷上地域	
6	荒 木 伸 雄	氷上地域	
7	松 本 佳 則	氷上地域	
8	蔦 木 伸 一 郎	氷上地域	
9	橋 本 千 英	青垣地域	
10	橋 本 崇 史	青垣地域	
11	木 寺 郁 代	市島地域	
12	高 橋 典 子	市島地域	
13	足 立 ま ゆ み	春日地域	
14	細 見 勝	春日地域	
15	山 内 順 子	春日地域	

## 丹波市教育委員会事務局職員名簿

令和6年4月1日

役 職	氏 名	備 考
教育部長	足 立 勲	
教育部次長兼学校教育課長	山 本 浩 史	
恐竜課長	松 枝 満	
社会教育・文化財課長 兼文化財係長	小 畠 崇 史	
社会教育・文化財課 副課長兼社会教育係長	足 立 恵 一	
社会教育・文化財課 社会教育係	中 本 祐 史	

## 丹波市 まちづくり部職員名簿

令和6年4月1日

役 職	氏 名	備 考
まちづくり部長	谷 水 仁	
市民活動課長	山 内 邦 彦	
文化・スポーツ課長	木 村 成 志	
人権啓発センター所長	堂 本 祥 子	

令和6年度 第3回丹波市社会教育委員の会議

出 欠 票

NO	氏 名	住 所	
1	梅 垣 真 紀	柏原地域	出
2	竹 安 今日子	柏原地域	出
3	竹 岡 郁 子	山南地域	出
4	森 奥 和 代	山南地域	出
5	梅 谷 浩 子	氷上地域	欠
6	荒 木 伸 雄	氷上地域	出
7	松 本 佳 則	氷上地域	欠
8	蔦 木 伸一郎	氷上地域	出
9	橋 本 千 英	青垣地域	出
10	橋 本 崇 史	青垣地域	出
11	木 寺 郁 代	市島地域	欠
12	高 橋 典 子	市島地域	出
13	足 立 まゆみ	春日地域	出
14	細 見 勝	春日地域	欠
15	山 内 順 子	春日地域	出